

優しさよ、強くあれ

硬派が強くなる時代がある

軟派が意気地無いからでもある

男も女も社会もすべてがそれに歩調を合わせる

出世もそれで決る

女の男観もそれで決る

虫も殺せぬ優しさなどというが

本当の優しさは人を殺すかも知れぬ

でも人を殺す前に「強く」なければならぬ

自分の死を賭ける強さ

人を守る強さ

理念を守る強さ

人の幸せを守る執念

親や家族を守れる強さ

本当に自分が愛する人たちを守ってくれる国を守る強さ

僕にはこれが一番信じられないのだが…

もつと優しい心の音を聞こう

複雑なその音を河の流れよりも鋭く聞き分けよう

目立って喧嘩つ早く強い奴を疑ってかかろう

いくら静かでもいくら優しくつても

静かに炎は燃えているのだから

多くの人の命を燃え続けさせるために

自分だけ生き延びようとする奴を憎むこともできる

血管がビクンビクンと震える軟派だつて

まだまだいくらでも居るんだ

夜が何回も来ればその数だけ

太陽の時間も廻ってくる

(2006.6.26)